

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的、取組の内容、取組の効果
株式会社 エイコー	卸売業	404名 2021年 7月現在	<p>(1) 取組の背景・目的 「業務の生産性向上」と「ワークライフバランスの実現」を主目的とした。 また、新型コロナウイルスの脅威から社員の健康と安全を確保するための施策として、社内テレワーク制度の整備を進めた。</p> <p>(2) 取組の内容（主な内容として）</p> <p>① 社内の情報コミュニケーションツールを「Microsoft Teams」に一本化（2020年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> • これまでのメーリングソフトの標準活用を改め、チャットグループやチームを活用することで社内コミュニケーションを活性化。 • 対面での会議を減らし、WEB会議を推奨。 <p>② テレワーク基本的ガイドラインを作成（2020年7月 社内公開）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社内でのテレワークの活用に関して基本的な理解を促すとともに、ガイドラインにはテレワークのメリットのみを前面に出すのではなく、テレワークのデメリットも表現した。 <p>③ テレワークセキュリティガイドラインを作成（2020年7月 社内公開）</p> <ul style="list-style-type: none"> • テレワークの種類について定義した。 • テレワーク時に使用するデバイスについて定義した。 • 自宅やサテライト拠点における業務環境と注意事項、ルール等を明記した。 <p>④ テレワーク勤務者に各種情報端末を提供（社用携帯・モバイル端末・セキュリティ機材等）</p> <p>⑤ テレワークに準拠した業務スタイルへの移行</p> <p>(3) 取組の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移動時間（コスト）の削減、時間外業務の削減、サテライト拠点の活用、WEB会議システムやオンライン教育ツールの積極的活用、家庭での時間の確保、本格的なBCP対策への基盤準備等